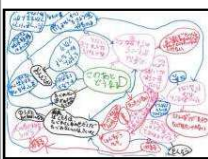


私たちのくらし ～カメルーンとの交流を通して～

12

所 属	愛知県津島市立神守小学校	実践者	道野 大和
対 象	小学校 4 年生（69 名）	実践日	2023 年 6 月～1 月
実践教科	総合的な学習の時間	時間数	30 時間
ねらい	・日本とカメルーンの「水・ごみ事情」の違いに気づく。 ・日本と海外の国とのつながりについて知り、自分たちにできることを考える。 ・日本とカメルーンとの交流を通して、世界がつながることの大切さに気づく。		
実践内容	回	プログラム	備 考
	1-2	◆ カメルーンとのオンライン交流(青年海外協力隊 橋爪綾香氏) ① カメルーンの「ごみ・水」について ② カメルーンの「くらし・学校」について	Teamsのビデオ会議を利用  カメルーンってどんな国？ 日本から、飛行機で約10時間 国語：フランス語 通貨：日本より約10倍高くて 主食：フランス語
	3-6	◆ 日本と世界は、つながっている？ ① 「海外に頼っているものランキング」クイズ ② もしも海外とのつながりがなくなったら【派生図】【ギャラリー方式】 ③ 「カメルーンにまつわるウソ？ホント？」 ④ 「豊かさについて考えよう」【ランキング】	愛知県国際交流協会 HP より 
	7-12	◆ SDGs の問題を解決したい！～ロボホンと共に～ ① SDGsの目標12～15の目標について知る ② 学んだことを共有する【ジグソー法】 ③ 目標達成へ向けての課題を整理する ④ 具体的な解決案を考える ⑤ ロボホンにプログラムする ⑥ 発表	ロボホン 
	13-24	◆ 世界の様々な問題～環境・貧困・児童労働～ ① これって何の植物？ ② カカオ豆にかくされた問題【フォトランゲージ】【派生図】 ③ 児童労働の現実【ジグソー法】 ④ 文字が読めないってどういうこと？ ⑤ 学校に行けないってどういうこと？【フォトランゲージ】【因果関係図】	派生図 
	25-30	◆ あやか先生からのお誘い！？～写真展に参加へ～ ① どんな写真を展示するか話し合う【ブレインストーミング】 ② 写真を撮影する ③ 写真に添える文章を考える ④ 出展 ⑤ カメルーンの方々の反応を知る ⑥ これからの行動について決意表明をする	写真展のようす 
成 果	・日本のくらしが当たり前ではないことに気づくとともに、世界とのちがいを受け入れることができた。 ・様々なアクティビティを経験することで、話し合いの手法を知り、積極的に学習することができた。 ・世界とのつながりを経験し、身近な行動を変えていこうとする意識をもつことができた。		
課 題	・学習したことを実生活に生かすことが難しかった。食品ロスはいけないうつせつ、給食に対して無関心な児童もいた。学習したことを行動にうつせるようにしたい。 ・子どもたちの関心が広がらずにしまい、一人一人の「もっと知りたい」に対応することができなかった。		
備 考			